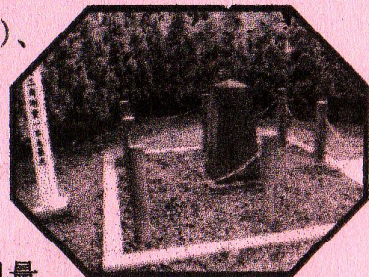


史跡 開拓使三角測量一本木基点

＝北海道 史跡＝

- ・所在地 一本木 ・所有者 北斗市
- ・面積 283㎡
- ・指定 平成16年9月22日
(平成6年5月9日)

明治6年(1873)、
北海道開拓使は
正確な北海道地
図作成のため、
米人ワッソンを
測量長に三角測量
事業を開始した。



勇払と鶴川間の基線を描き、両端の基点
に標石を設けた。

翌年亀田村(現函館市田家町)と一本木村
間に補助基線を描き、基点に標石を設けた。

事業は道南から道北へかけ地図作成に成
果を収めた。我国の三角測量史上、重要な
意義を持つものである。

昭和45年(1970)、道開拓記念館の調査で
確認され、基線、補助基線の4基点で現地
に標石が保存されているのは北斗市一本木
のみである。

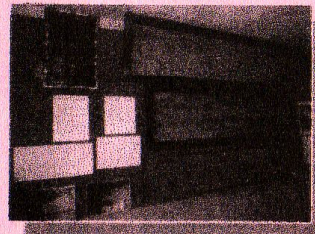
平成16年(2004)、道指定に格上げされた。

歴史資料 「文月稲荷神社」(三類)

＝北斗市 有形文化財＝

- ・所在地 文月・所有者 文月稲荷神社
(平成16年6月22日)

文月稲荷は松前
藩が崇敬した三大
稲荷の一つ。
三つの掲額を指定。



○俳句額 天保3

年(1832)、松前藩主・章広あきひろが神社補修完成
を祝って奉納されたと考えられる。松前、
箱館の俳人58人の137首が書かれている。
○造営由来額 文政11年(1828)、神社再建
の由来を記録したもの。俳句も載り章広「維
嶽公」の2句を含む10句が載っている。

○社号額 章広の自筆で稲荷大明神と書か
れ落款らくかんもある。

北斗市郷土資料館に展示

三角測量事業櫓模型、文月稲荷神社掲
額レプリカや村絵図写真、鶴山道石版
画コピーなどは指定文化財コーナー
に展示

◆問い合わせ 北斗市郷土資料館
041-1201 北斗市本町2丁目12番7号
(0138) 77-6681

史跡 北海道水田発祥の地及び記念碑

＝北斗市 記念物＝

- ・所在地 村内 ・面積 163㎡
- ・指定 平成20年3月26日

北海道水田発祥の地として知られる、旧
文月村南部が村内むらうちである。

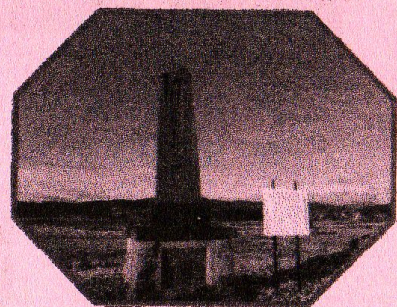
①寛文年間(1661～72)「松前藩主が農家に
稲作を作らせた」説

②貞享2年(1686)「高田吉右衛門しやうきやうが水田
を開いた」説

③元禄5年(1692)「農民作右衛門が開田し
米を収穫した」説

④文化2年(1805)「箱館奉行が開いた」説
の四つの記録があり、戦前は貞享2年説を
採っていたが、戦後は元禄5年説となっ
ている。

昭和24年(1949)、道知事揮毫きごうの碑が建て
られ、「元禄5
年農民作右衛
門、自然水に
より450坪を
開田し、産米
10俵を収穫し
た」と碑文に
刻まれている。



碑と説明板